

表17. 全国民の生き方

- これから30－50年間、超低線量放射線の存在下のこの国で暮らす覚悟が求められる
- 放射線の正しい知識とリスク、個人レベルの放射線低減法を知り、自然豊かな国土で子どもたちや未来の世代を守っていく義務がある
- 福島以外の住民は今こそ福島の復興と再建をあらゆる面から支える義務がある